

総務厚生常任委員会

委員長 瀧尻行雄

飯南町過疎地域自立促進計画

過疎地域自立促進措置法は、今年3月に一部が改正され、ハード事業（公共施設、道路、上下水道、など）を対象としていた過疎対策債が、地域医療の確保、生活交通の確保、集落の維持・活性化などのソフト事業にも使えるようになり、平成28年3月末日まで6年間延長されました。

過疎対策債は他の借入金と異なり、事業費の全額を借り入れることが出来、返済時には7割が交付税で還元、実質的な町の負担は3割の負担ですむ有利な借入金です。

執行部から「この計画は実施時期や予算が必ずしも確定されているものでなく、実情に応じ弾力的に運用されることを前提としている」との説明は受けたものの、これまで何の説明もされなかった新規事業が年度計画に載せられている。十分に議論を尽くした後に、今後策定される総合振興計画には載せるよう意見を付しました。

飯南町犯罪のない安全で安心な街づくり条例の制定

町の責務、町民、団体の役割を明確にし、防犯意識の高揚と自主的な活動の推進を図り、犯罪のない、安全、安心なまちづくりに寄与することを目的としています。

自らの安全は自らで守るという連帯意識のもと、協働により防犯活動を積極的に推進します。

一般会計 補正予算

【国道54号活性化アクションプラン：135万円】

中国横断自動車道の整備が進み、本町が経済的に大きく依存していた、国道54号の交通量が激減することが予想されています。

アクションプランは国道54号を持続的に活用し、交流により活力のある飯南町の実現を目指します。

平成22年度の取り組みは、「雪イベント」と、さくらの里きすき・掛合の里・とんぼら・赤来高原・ゆめランド布野、各道の駅が協力して行う「スタンプラリー」が計画されています。

【町営バス19時台に増便：270万円】

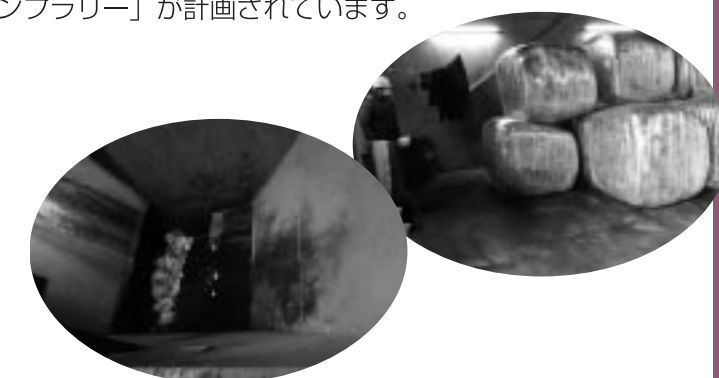
飯南高校からクラブ活動終了後のバス便に対する要望がありました。本町は飯南高校の生徒確保に多様な対策を講じていますが、このたびそのひとつとして、クラブ活動後安全に帰宅できるよう、19時台にバス便を増便することにしました。

【圧縮梱包機修理：384万円】

雲南市・飯南町事務組合一般廃棄物処理施設の可燃ごみ圧縮梱包機が、生ごみから出る污水が原因で腐食が進み、シリンダーにひずみが生じています。このまま放置すれば大規模な改修が必要となり、長期にわたり業務休止の恐れがあるため、修理することにしました。

雲南市・飯南町事務組合
一般廃棄物処理施設

そごう広島店の飯南町フェア



教育経済常任委員会

委員長 小野 覚

農林業研修宿泊施設の設置及び管理に関する条例

農林業振興及び農林業の担い手となる人材の育成を図るため「農林業定住研修制度」を実施し、研修生等の研修宿泊拠点となる施設を、野萱地内・旧森林組合事務所を改修し設置するものです。対象となる入居者は、「飯南町農林業定住研修生」「町内の農業法人等で短期間の農業体験を行う者」等で、入居期間は2年間で上限です。

この施設が有効に利用され、U・Iターン者の新規農業就労促進が期待されます。

公の施設（飯南町ふるさとの森）の指定管理者の指定

飯南町ふるさとの森（旧県民の森）の指定管理者を、公募によらず、株式会社フロンティアあかぎを指定管理者にしたいとするものです。

審査の仮定で委員から、「不採算部門であるこの事業を従来の委託から指定管理へ移すことへの危惧」「公募によらず指定管理者とする根拠」「実質的な運営は平成23年春になることから、現時点で指定管理することへの異議」などの発言がありましたが、委員会では賛成多数で可決しました。

一般会計 補正予算

【ヤマトイモ推進事業：335万円】

平成22年3月議会において、当委員会より町長に対し「農家の生産意欲を喚起するよう申し入れ」をしましたが、これを受け今定例議会補正予算で、ヤマトイモ生産組合に対し335万円の貸し付けを行うことになりました。

これによって、平成22年産ヤマトイモ出荷代金の概算払いは、平成22年12月中に実行できることになりました。

【小規模土地改良支援事業：2,000万円】

国の「農地有効利用支援整備事業」が事業仕分けにより廃止になりましたが、事業実施希望者があるため、＜用排水路の整備や簡易な圃場整備＞について、町が事業費の50%を補助して事業を進めます。総事業費は4,000万円、そのうち、町の補助金を2,000万円とする補正予算です。

【農地有効利用支援整備事業：2,350万円】

国の「農地有効利用支援整備事業」が事業仕分けにより廃止になりましたが、島根県単独事業として実施されることとなりました。これにより、＜受益面積5ha未満の暗渠排水や農道整備＞を進めるもので、総事業費2,350万円の補正予算です。

【赤来中学校 耐震大規模改修事業：2億6,000万円】

赤来中学校校舎の耐震補強工事、及び大規模改修工事に係る補助金が認められたことによる補正予算です。工事契約は平成23年1月頃の予定で、同年の夏休みを中心に工事をする計画です。

委員から「工事期間中の授業への影響対策」などの質問があり、執行部から「工事の進捗状況によっては、体育館を仕切った仮教室も考えている」と説明がありました。



改修工事中の赤来中学校